



加悦高 ニュースレター



KAYADANI

一人一人の可能性を伸ばす
加悦谷高等学校

副校長のあいさつ



高校時代ほど「一生懸命」という言葉が似合う時は他にないと思います。高校生活は一生懸命になれる対象が、学習、部活動、学校行事、生徒会活動など、たくさんあります。その中の一つでもよいので夢中になってほしいのです。

高校数学で学ぶ微分や積分は日常生活ではほとんど必要ありませんし、試合に勝たなくても楽しいと感じる人もいますかもしれません。だから、学習は最低限でよい、部活動で楽しければ強くならなくてもよいと思っても問題はないのかもしれません。

しかし、それでは本当の面白さや楽しさを味わうことができません。一生懸命努力し、満足できる結果が得られたとき、本当の楽しさや達成感があります。後で振り返ったとき、「あの頃は一生懸命だったな。その甲斐があって結果もついてきたな。」という成功体験が大事なのです。もちろん懸命にやっても必ずしも良い結果に繋がらない場合もあると思いますが、それでも構いません。目標とする結果を求めて一生懸命になることに意味があります。

困難があっても最後までやり遂げたという経験があり、「自分は頑張ればなんとかなる」と思うことさえできれば、何に対しても向かっていけます。そう思える自分になること、これこそが高校生活の最大の目標ではないでしょうか。それを達成するために夢中になるものを高校で一つ見つけてください。

令和元年度 第2号(6月)

題字：加悦高書道部 作

■ 競技用車いすを体験！パラ・スポーツの理解を深める。



年度の1年生は、「総合的な探究の時間」を活用し、パラ・スポーツ(障がい者スポーツ)について学び、探究する活動をしています。

5月7日(火)には、与謝野町障害者福祉会会長 江原義典様と同会に所属の市田孝史様にお越しいただき、「パラ・スポーツ」についての理解を深めるため、講演会と体験会を開きました。江原様からは、障害者スポーツが生まれた経緯や、与謝野町の障害者福祉の取り組みについてお話いただき、市田様からはご自身のパラスポーツ人生について語っていただきました。講演会の後は、江原様、市田様から御説明をいただき、実際に競技用の車いすに乗る、という体験をさせていただきました。

最初は、乗るのに躊躇している生徒たちでしたが、乗ることに慣れるとスピードを出して走り回ったり、競争したりするようになっており、楽しみながらパラ・スポーツの感覚を感じていました。2020年の東京パラリンピックでは、関心を持って応援するだけでなく、ノーマライゼーションについても考えを深めていけるように、毎週の「総合的な探究の時間」でパラ・スポーツについての知識と教養を深めていきます。

写真)上から: 駅伝用車いすの説明を受ける生徒(真ん中: 江原様) バスケットボール用車いすで競争する生徒たち 市田様(左)と競争する生徒



■ 文化祭テーマ発表！ 生徒総会



生徒会長の豊島喜一くん



発表された文化祭テーマ



生徒会執行部主催の生徒総会を実施しました。昨年度の各部活動の予算状況の報告の後、今年度の各部活動の予算案の提案がなされ、全校生徒に承認されました。また、生徒会副会長の森垣奈々さん(加悦中)が今年度の学校行事への想いを述べ、生徒全員で盛り上げようと呼びかけました。その後、生徒会長の豊島喜一くん(江陽中)が全校生徒に対して、今期の生徒会執行部メンバーの紹介と今年度の学校祭のスローガンを発表しました。

今年のテーマは「KAYADANIAN spirits 新時代を築け」です。このテーマには、これまで受け継がれている加悦高生としての誇りを大事にし、加悦高生らしさを発揮させて学校祭を成功させる、という想いを込めています。そして、新元号・令和となり新しい時代の幕開けとあわせて、自分たちがその時代を築いていく、という想いも込めています。来場者の方々に楽しんでいただけるような学校祭になるように取り組んでいきますので、応援よろしくお願いします。



京都府立加悦谷高等学校
 京都府与謝郡与謝野町字三河内810
 電話：0772-42-2171
 FAX：0772-42-2172
 電子メール：
 kayadani-hs@kyoto-be.ne.jp

加悦高 キャッチフレーズ

3つのシン【真、信、伸】

- 真剣で真の教育
- 信頼関係にもとづく教育
- 伸ばす教育

5月にPTA総会を開催しました。沢山の保護者の方々にご参加いただきました。



PTAスローガン

元気だしていこう！
 つながっていこう！
 我ら加悦高応援団！
 ～明るく楽しく笑顔で～

■ 大健闘！両丹総合体育大会/壮行会

5月19日に両丹総合体育大会が開催されました。前日の18日には壮行会を実施しました。選手団に対しエールを送り、選手団は「日頃の練習の成果を発揮し、これまで支えていただいた方々の期待に応えるために全力を尽くす。」ことを誓いました。選手宣誓を卓球部主将の小田健介君(加悦中)が務め、旗手は女子バスケットボール部主将の杉本莉夏さん(江陽中)が務めました。

総体当日は、本校がサッカー会場となり、選手団以外の生徒はサッカー部の応援をしました。優勝候補相手に2-2の接戦の末、PKまでもつれこみ、4-5と惜敗しましたが、会場を大いに沸かせていました。

総合結果は、本校は18校中男子が8位、女子が9位となり、小規模校ながら、非常に健闘した結果でした。中でも、陸上競技部男子(上級)は**優勝**、陸上競技部女子(上級)も**準優勝**を果たし、卓球部男子(上級)は**3位**の成績を収めました。上位入賞を逃した部活動におきましても、優勝候補校、強豪校相手に追い詰めるような試合運びをする、非常に良い試合を繰り広げました。

これから夏にかけて公式戦を控えている部活動も多くあります。今回の経験を糧にし、今後の活躍に繋げてほしいと思います。



写真)

右：上から 選手宣誓(壮行会)、サッカー部、卓球部
 左：本校で応援する生徒・先生たち

■ 【合唱部】歌を届ける ～江山文庫「新緑の手仕事展」～

4月30日に、与謝野町立江山文庫で行われた「新緑の手仕事展」にて、合唱部がアカペラのマイクパフォーマンスを披露しました。小雨が降る中でしたが、多くの方にお越しいただき、素敵なステージになりました。

また今回は、入部からわずか15日の1年生の初舞台でした。初めてで緊張していましたが、司会・歌ともに無事に乗り切ることができました。部活動が終わってからも歌いながら校舎を後にする部員が多く、廊下にもその歌声を響かせていました。その成果が十分に発揮できたステージとなりました。



マイクパフォーマンスを披露する部員たち



さらに、今年の3月に卒業したOBも駆けつけ、一緒に歌い、盛り上げてくれました。お越しくくださった皆様、ありがとうございます。これからも各地のイベントに出演させていただきますので、引き続き応援のほどよろしくお願いいたします。

写真)江山文庫

Topics !

加悦谷高等学校 書道部

本年度のニュースレターの題字は全国大会14回連続出場の本校の書道部が書きました。

生徒たちの学校生活なども更新中！
 Web サイトもご覧ください
<https://www.kyoto-be.ne.jp/kayadani-hs/>

QRコード⇒

